

～字は体を表す～

近年、PCや携帯電話の普及に伴い、字を書く機会が激減しました。

手紙はメールになり、履歴書もPCで作成、学校の通知表も手書きではなくなりました。

そんな中、私が携わっている契約業務では手書きされた書類を数多く見ることができます。その中でも手書き量がずば抜けて多い書類がお部屋を借りるための申込書です。申込書には様々な情報を記入します。

□ 申し込み本人の情報

氏名、年齢、住所、電話番号、勤務先（社名、住所、電話番号、事業内容）、勤続年数、年収など

□ 他の入居者の情報

氏名、年齢、申し込み本人との続柄、勤務先もしくは学校名など

□ 連帯保証人の情報

氏名、年齢、住所、電話番号、勤務先（社名、住所、電話番号、事業内容）、年収、申し込み本人との続柄など

これらの記入された情報を元に入居の審査を進めます。記入事項に間違いはないか、家賃の支払い能力があるか、来店時や電話対応時の態度はどうだったかなどを確認し、当社取扱い物件の入居者にふさわしいかを見極めます。私が所属する川崎地区には年間約700件の新規申込があります。

その申込書の筆跡はまさに十人十色です。書道の先生のような美しい字、定規を使ったようなきちっとした字、線が細い繊細な字、力強い大きな字、よく書けるなど思うほどの小さな字など様々です。「字は体を表す」という言葉があります。筆跡がその人の性格を表しているという意味です。私はこの言葉が全ての人に当てはまるとは思いませんが、確かに当たっていると思うことはあります。以前、文字の大きさが活字のようにどれも同じで、少しも曲がっておらず、定規をあてたような字を書く方がいらっしゃいました。その申込書を見たとき、この方はとても几帳面な人という印象を持ちました。その後、契約書の取り交わしの際にはひとつひとつの書類の記入方法をその都度電話で確認され、ご来店時には説明を聞きながら絶えずメモを取られていました。文字の印象通り、とても几帳面な方でした。このように契約時にお会いして、「字は体を表す」を実感することが多々あります。特にクレーマーや滞納気味の入居者には有意な特徴がみられますし、来店受付簿は履歴書と違い校正や書き直しができず、更に限られた時間で書きますので、後日提出していただく契約書等の入居必要書類と比べると性格や傾向をつかむ上で効果的です。又それらの不良入居者の筆跡を点検する事で、ノウハウも蓄積され、当社版プロファイリングも可能です。そこで、筆跡でどのように性格の特徴がわかるのか調べてみました。

【文字の大きさでわかる、外向性と内向性】

■ 罫線からはみ出していたり、枠ギリギリに書いている

「大字型」で外向的。子どものように伸びやかな感性の持ち主で、明るく大胆なタイプ。エネルギーが外に向かいやすく社交的。遠慮のないつきあい方をするため、場合によっては「もっと空気を読んで」と思われることも。

■ 罫線の上下左右に隙間ができる

「小字型」で内向的。控えめで、周囲への配慮が行き届いた大人タイプ。エネルギーを内に向けるため、何ごとにも細心。思ったことをなかなか口に出せずに、ストレスをためやすい傾向にある。体調が悪かったり自信を喪失したときに、一時的に小字型になることも。



■大きさがバラバラ

優柔不断。多種多様な趣味や好みがある。

■大きくもなく、小さくもない

適応能力が高く、空気を読むことが上手。

【文字の角度でわかる、物ごとの受け取り方】

■右上がりになっている

物ごとを素直に受け取る人。文字は6度程度右上がりの状態が一番美しく見えるもので、楷書や教科書体ではやや右上がりになっている。右上がりに書く人は世の習いに従う気持ちが強く、伝統を守ろうとするタイプ。保守的で忠実な心の持ち主。

■右下がりになっている

物ごとを懐疑的に受け取る人。右上がりと右下がりの両方を書いてみるとわかりますが、右下がりのほうがペンを寝かせた姿勢をとります。これは物を斜め下から見る傾向をあらわしている、批判精神旺盛な人。この筆跡の持ち主は評論家に多い。

■右上がりでも右下がりでもない

水平型の文字を書く人は、物ごとを客観的に受け取る人。主観を交えず淡々と世間を見つめるタイプ。

【文字の間隔でわかる、気の長さ】

■字間が詰まる

字間が詰まる人ほど、時間の経過に敏感でせっかち。次々と次のことをしていきたい、思い立ったら即行動に移したいと思っているタイプ。前の文字にくっつくほどだと事故を起こしやすい。

■前後の文字間隔を広くあける

前後の文字間隔を広くあける人は、のんびりおっとりタイプ。1つのことを成し終えたら、次のことに取りかかるまで時間をかけたい人。文字1つ分ほどあける人は超がつくマイペース。

【文字列のうねりでわかる、気持ちの安定度】

■まっすぐ書けている

考え方にブレがなく、気持ちが安定している人。集中力があり、一度決めたことは最後までやり遂げようとするタイプ。多くの信頼を集める人。

■うねっている

うねっている人は感覚派。ちょっとした刺激ですぐに横道に逸れてしまい、「もっと腰を据えて努力しなさい」と説教されるタイプ。芸術的な才能が発達しているなので、趣味を究めると第二の人生が開ける可能性が高い。

字の第一印象はとてもわかりやすいので、思っている以上に大きなポイントです。当たり前ですが、きれいな字を書く人だと「きちんとした人」という印象を持ちますし、汚い字の人だと「だらしなさそう」という印象になります。身なりを整えることはもちろんですが、字を整えることも印象を良くするポイントではないでしょうか。

また、字は練習次第で変えることができます。自分のなりたい性格の字を書くことで性格も近づくとする説もあります。一度、自分自身の字をじっくり見てみることも良いかもしれません。

申込書記載の情報だけでなく、このような視覚的情報や電話応対などの聴覚的情報も参考に取り入れ、より良い審査ができるように精進していきたいと思えます。

